



七夕まつり(昭和41年)



養蚕風景(昭和43年頃)



諏訪神社神輿(昭和33年)



4丁目(昭和31年)

# 60年のあゆみ

昭和29年→昭和54年

平成26年に市制施行60周年という記念すべき年を迎えた藤岡市。  
60年のあゆみを年表と写真で振り返ります。

昭和54年

昭和29年

54年4月	53年2月	52年4月	51年4月	50年4月	49年4月	48年4月	47年4月	46年3月	45年5月	44年6月	43年3月	42年10月	41年5月	40年3月	39年4月	38年2月	37年5月	36年2月	35年5月	34年4月	32年6月	30年3月	29年4月		
5月	4月	4月	11月	6月	12月	10月	5月	8月	8月	8月	12月	12月	12月	12月	7月	8月	6月	4月	5月	10月	7月	5月	29年4月		
●城山サッカー場(現中央公園)オープン	●市役所東庁舎完成	●藤岡市郷土資料館設置	●火葬場(借同苑)完成	●上臼野赤久縄山珍獣「ヤマネ」国指定天然記念物となる	●元横綱琴桜一行土師の辻にて奉納相撲披露	●多野藤岡広域市町村圏振興整備組合誕生	●多野藤岡広域市町村圏消防本部発足	●老人福祉センター完成	●交通指導員制度創設 指導員35名任命	●国道17号バイパス開通	●消防署、救急業務開始	●市役所新庁舎完成、新庁舎へ移転、市役所業務新庁舎にて開始	●水宮神社大ケヤキを県天然記念物に指定	●多野藤岡伝染病隔離病舎(現公立藤岡総合病院)開設	●「藤岡町史」を刊行	●初代市長に福島元助氏就任	●藤岡市消防組発足	●市立図書館開館	●藤岡市制施行(藤岡町・神流村・小野村・美土里村・美九里村合併)人口33,879人						



全国自転車安全乗り方コンクール全国大会  
藤岡第一小優勝(昭和45年)



藤岡市役所(昭和43年)



三名湖(昭和37年頃)



達磨窯(昭和35年頃)



消防団火災演習(昭和33年)



群馬藤岡駅(昭和32年)



藤岡まつり商店街大売り出し  
パレード(昭和31年)



土師神社奉納相撲(昭和49年)



みらい藤岡子ども議会(平成13年)



ららん藤岡オープン(平成12年)



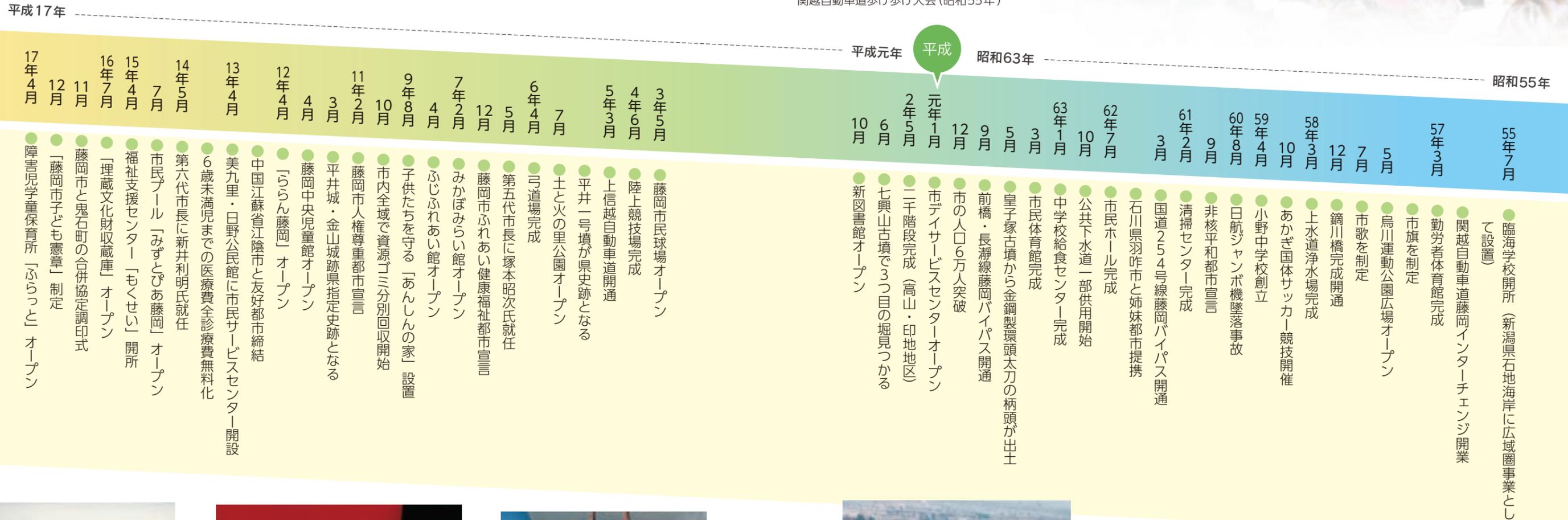
友好都市調印式(平成12年)



関越自動車道歩け歩け大会(昭和55年)

# 60年のあゆみ

昭和55年→平成17年



合併協定調印式(平成16年)



全国太鼓フェスティバル(平成13年)



市制施行50周年イベント(平成16年)



みずとぴあ藤岡10万人記念(平成15年)



上信越自動車道開通記念フェスティバル(平成5年)



巨大壁画描初式(平成2年)



あかぎ国体聖火リレー(昭和58年)



上信越自動車道落書き大会(平成4年)



前橋・長瀬線藤岡バイパス開通(昭和63年)



湯原昌幸さんを観光大使に委嘱  
(写真は平成19年ふじまつり)



NHKのど自慢公開録画(平成18年)



鬼恋節分祭(平成18年)



鬼石総合支所開所式



平成22年

平成18年

22年3月	21年7月	20年3月	19年1月	18年1月
4月	12月	8月	11月	
10月	10月	6月	10月	
8月	8月	3月	9月	
		3月	4月	
		3月	2月	

- 新「藤岡市」の誕生 新生「藤岡市」発足式
- 本庁、鬼石総合支所開所式
- 藤岡市・鬼石町合併記念式典
- 第1回藤岡市鬼石地域審議会開催
- 蛇喰溪合整備完成
- NHKのど自慢公開録画
- 藤岡市総合運動公園拡張
- 湯原昌幸さんを観光大使に委嘱
- 行政改革大綱・行政改革推進計画策定
- ふじおか教育の日制定
- 富岡製糸場と絹産業遺産群(高山社跡)が世界遺産国内候補地に選定
- 県立藤岡高等学校、県立藤岡女子高等学校閉校
- 中山秀征さんを観光大使に委嘱
- 新上落合樋管完成
- 三波石峡文化財指定50周年記念
- 長瀬線バイパス「上大塚～鮎川間」暫定開通
- 第4次藤岡市総合計画を策定
- 三波川地区に小型アマンダバス運行開始
- 桜山公園100周年記念式典
- 毛野国白石丘陵公園オープン
- 「高山社跡」国史跡指定となる
- 市制55周年記念 花火大会
- 県営ふるさと農道「天場～鬼石間」全面開通
- 高齢者自立センター鬼石オープン
- 小林立石線「小林～下栗須間」暫定開通
- 総合学習センターオープン



# 新生「藤岡市」、誕生。

平成18年1月1日、歩み始めた新しい「藤岡市」

地方分権型の地域経営確立が迫られる中、多野藤岡地域の将来を見据え、また市町村合併特例法期限内の合併を目指すため、平成16年7月、「藤岡市・鬼石町合併協議会」が設置されました。

同年11月25日までに6回の協議会を開催し、合併に関わるさまざまな問題が協議されました。26の協議項目および22の事務事業についてすべて承認されたことを受けて、新井利明藤岡市長と関口茂樹鬼石町長は合併協定調印を行いました。

そして、平成18年1月1日、藤岡市と鬼石町の合併が成立し、新しい藤岡市が誕生しました。

新市のまちづくりに際しては、10年後の平成27年度を計画期間とする新市建設計画が立てられ、新市の速やかな一体化を促進し、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図るための方策が順調に進められています。



新生「藤岡市」発足式



市制施行55周年記念花火大会(平成21年)



桜山公園100周年記念式典(平成20年)



中山秀征さんを観光大使に委嘱(平成19年)



ふるさと農道「矢場～鬼石間」全面開通(平成21年)



田島弥平旧宅

荒船風穴

高山社跡

富岡製糸場・絹産業遺産群保護活動応援ファンド

追加型投信／内外／資産複合

愛称 群馬の絹遺産

繭と生糸は日本一

富岡製糸場の3棟  
(繰糸所、東置繭所、西置繭所)が  
国宝に指定されました。

写真提供:群馬県

群馬銀行は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の保護活動を応援します

ファンドの特色

- 1 マザーファンドへの投資を通じて、主として日本株式と世界債券へ分散投資することにより、利息・配当収益の確保と信託財産の長期的な成長を目指します。  
※日本株式部分(ファンドの純資産総額の50%程度)については、群馬関連企業(上場株式に限り)に投資を行います。
- 2 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
- 3 年4回の収益分配を目指します。  
●毎年1、4、7、10月の4日(休業日の場合は翌営業日)を決算日として、毎決算日に収益の分配を目指します。

お客さまにご負担いただいた運用管理費用(信託報酬)の一部を『富岡製糸場と絹産業遺産群』保護のために寄付を行います。

- 当ファンドの販売会社および委託会社は、収受した運用管理費用(信託報酬)の一部(それぞれ運用管理費用(信託報酬)率のうち年率0.1%程度)を『富岡製糸場と絹産業遺産群』保護のために寄付を行います。
- 寄付先および寄付金額の具体的内容については、運用報告書等において開示いたします。

寄付金額	
販売会社	各販売会社が、毎年7月の決算期末を基準に、前1年間に収受した運用管理費用(信託報酬)の中から、各販売会社の取り扱い純資産総額に応じて、当該期間中の日々の純資産総額に年率0.10%を乗じて得た金額(ただし、将来的には状況によって寄付金額が変更になることがあります。)
委託会社	毎年7月の決算期末を基準に、前1年間に収受した運用管理費用(信託報酬)の中から、当該期間中の日々の純資産総額に年率0.10%を乗じて得た金額(ただし、将来的には状況によって寄付金額が変更になることがあります。)

ご注意いただきたいポイント

・ファンドの費用:お客さまが直接的に負担する費用【購入時手数料】上限2.16%(税抜2.0%)【信託財産留保額】かかりません。お客さまが間接的に負担する費用【運用管理費用(信託報酬)】純資産総額に対して年率1.4472%(税抜1.34%)【その他費用・手数料】監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料、組入資産の保管費用等(消費税相当額を含む)がかかります。これらの費用は運用状況等により変動するため、その総額および上限額等を示すことができません。・ファンドのリスク:組入の有価証券等の値動きにより変動する(外貨建資産は為替変動リスクもあります)ため、お受取金額が投資元本を割り込む(損失が生じる)リスクがあります。これらのリスクはお客さまご自身が負担することとなります。※当ファンドの主なリスクは、株価変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、信用リスクです。・ご留意事項:投資信託は預金商品ではなく、元本および分配金の保証はありません。お申込みにあたっては、契約締結前交付書面(目論見書および目論見書補完書面)等を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お問い合わせ 群馬銀行ダイレクトセンター  
0120-139138  
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休日、12/31~1/3を除く)

商号等 株式会社群馬銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第46号  
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会



あなたの夢、応援します。  
群馬銀行  
http://www.gunmabank.co.jp/  
〈平成26年12月10日現在〉



藤岡まつりに群馬医療福祉大学学生参加(平成22年)

60年のあゆみ

平成22年→平成26年

平成26年

平成22年

- |                 |                               |                 |                    |                   |                 |                     |           |                        |                |                                 |             |                                 |                                |                                   |                   |               |              |                   |                  |                      |                 |
|-----------------|-------------------------------|-----------------|--------------------|-------------------|-----------------|---------------------|-----------|------------------------|----------------|---------------------------------|-------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-------------------|---------------|--------------|-------------------|------------------|----------------------|-----------------|
| 8月              | 6月                            | 4月              | 26年2月              | 10月               | 6月              | 3月                  | 25年1月     | 10月                    | 8月             | 7月                              | 6月          | 5月                              | 24年4月                          | 4月                                | 23年3月             | 10月           | 7月           | 6月                | 5月               | 22年4月                |                 |
| ● 市政60周年記念 花火大会 | ● 富岡製糸場と絹産業遺産群(高山社跡)が世界文化遺産登録 | ● 情報センターおにしオープン | ● 大雪により家屋や農業施設に大被害 | ● 県立みやま養護学校藤岡分校開校 | ● 看護師育成奨学金制度を開始 | ● インターネットで市議会録画配信開始 | ● 会遊亭オープン | ● 北部環状線「小林交差点〜笹川間」暫定開通 | ● 第1回上州藤岡蚕マラソン | ● 「市内循環線」三ツ木〜高山線 10人乗り小型車両で運行開始 | ● 景観行政団体に移行 | ● 富岡製糸場と絹産業遺産群(高山社跡) 世界遺産推薦候補入り | ● 新潟県上越市と集客プロモーションパートナー都市協定を締結 | ● 前橋長瀬バイパス藤岡工区(国道254号から南側に850m)開通 | ● 東日本大震災発生 市内でも被害 | ● 保美憩いの広場オープン | ● かな川水辺の楽校完成 | ● 中国江陰市との友好都市10周年 | ● 藤岡防犯ステーションオープン | ● 障害者支援センター「きらら」オープン | ● 群馬医療福祉大学看護部開学 |



高山社跡が世界文化遺産へ(平成26年)



第1回上州藤岡蚕マラソン(平成25年)



第1回チャレンジサイクリングフェスタ(平成24年)